

2050年カーボンニュートラルに向けた日本政府の目標「2035年までに乗用車新車販売で電動車100%」の実現に向け  
企業にも社用車をガソリン車からEV・PHV車への移行がより一層求められてくる時代となります。

## 現在の主流EV車の充電時間

【N社 Sの場合】



①普通充電器（3.2kW）  
充電時間（空⇒満）：**約8時間**  
※【N社EV S】の場合、6kW充電に対応していない為、6kW充電器で充電した場合でも充電時間は変わりません。

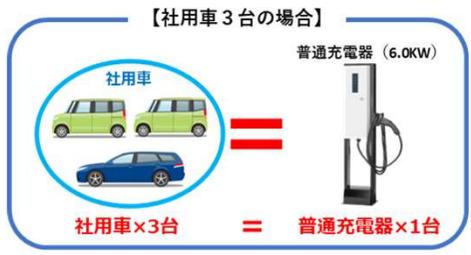
【N社 Lの場合】



①普通充電器（3.2kW）  
充電時間（空⇒満）：**約16時間**  
②普通充電器（6.0kW）  
充電時間（空⇒満）：**約8時間**

## 社用車所有台数における充電設備必要数（推奨）

1週間（平日5営業日）に1回充電の充電ローテーションとし、休日・祝日及び突発的な充電を考慮し**社用車3台に対し充電器（6.0kW）1台、設置運用することを推奨致します。**



## 企業（社用車）における充電設備利用シーン

★充電設備利用シーン（例）★ 平日5営業日（月曜日～金曜日）※土・日・祝は除く  
【タイムスケジュール例】



早出考慮し、7：00までには充電が完了するように充電開始  
↓  
充電が空の状態からでも約8時間あれば満充電が出来るため、23時から充電をしても、翌朝7：00には充電完了  
↓  
充電状態が50%の状態であれば、充電時間は、最大8時間の半分の4時間で充電完了致します。

**帰社後に充電開始し、翌営業日の出発前までに充電完了！！**

★充電ローテーション（例）★  
【社用車3台/充電器（6KW）1台の場合】

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
充電器①にて充電	社用車A	充電	-	-	-	-
	社用車B	-	-	充電	-	-
	社用車C	-	-	-	-	充電

【社用車6台/充電器（6KW）2台の場合】

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
充電器①にて充電	社用車A	充電	-	-	-	-
	社用車B	-	-	充電	-	-
	社用車C	-	-	-	-	充電
充電器②にて充電	社用車D	充電	-	-	-	-
	社用車E	-	-	充電	-	-
	社用車F	-	-	-	-	充電

（例）  
月曜日に1台・水曜日に1台・金曜日に1台充電する。  
火曜日と木曜日は、予備充電日として空けておく※休日・祝日を考慮  
走行距離に応じて社用車毎にローテーション管理を行う  
走行距離が多い社用車は週2回の充電が可能

充電ローテーションは、充電器が使用中で充電できない事象が起こらないために余裕を持ったスケジュールを推奨致します。

## EV充電器設置に際しての概算予算

- 普通充電器は、日東工業(株)製：普通充電器（6KW）EVPT-2G60J-F-L5の価格となります。  
※同機種は、令和5年度補正 補助金対象充電設備です。
- 充電設備設置工事費は、概算となります。（設置台数・設置環境により価格が変わります）  
※現地調査後に設置の御提案・御見積をさせていただきます。



日東工業(株)製：普通充電器  
(6KW) EVPT-2G60J-F-L5

【参考】普通充電器（6KW）導入の概算費用

【補助金利用なしの場合】

普通充電器（6KW）	機器費（標準価格）	設置工事費（概算）	概算予算
1台	¥ 346,000—（税別）	¥ 870,000—（税別）	¥ 1,216,000—（税別）

【補助金利用の場合】

補助金交付金額（機器） 1/2補助	補助金交付金額（工事） 1/1補助	補助金申請後の設備投資額（概算）
¥ 173,000—（税別）	¥ 870,000—（税別） ※注1	（機器費） ¥ 173,000— ※注1

※注1 設置工事費 1/1の補助金が交付上限の範囲で認められた場合の金額となります。

- 補助金交付上限（工事）につきましては、令和5年度補助金の場合、¥1,350,000-（税別）となります。  
※年度が替わった場合には、上限金額は変更の可能性があります。
- 補助金交付上限（工事）につきましては、充電器を複数台設置の場合には補助金申請後に補助金額が確定されます。
- 補助金申請から補助金交付の流れは「申請⇒交付決定⇒設置工事開始⇒設置工事完了⇒支払い完了⇒実績報告の提出⇒補助金交付」となります。  
※補助金は、工事完了（支払い完了）後の交付、その間の立替金となります。  
※補助金額は、消費税は対象外となりますのでご注意ください。